

教授 佛淵 孝夫

今年のテーマはQOL



詫摩利治様作

新年あけましておめでとうございます。「股関節だより」も満2歳となり、今後とも成長し続けたいと思います。

昨年を振り返って

昨年の1年間を振り返りますと、私達の佐賀医科大学病院整形外科では約320件の股関節の手術が行われました。常に100%の皆様に満足していただけるよう取り組んでおりますが、なかには必ずしも満足していただけない場合もありますが、そんな方々にも最終的には満足していただけるように努力する所存です。

また昨年も、全国から多くの先生方や看護婦さん達においでいただき、活発な意見の交換が行われました。私達が目指している医療が少しずつ認められているものと確信しつつ、もっと改善しなければならない点も明らかになりつつあります。

患者さんは相変わらず全国からおみえいただき、最近では佐賀県以外の方が約3割となっています。これからも、遠方からわざわざおいでいただけるような医療を目指していききたいと思います。

毎年明確なテーマ(目標)を決めてスタッフ一同努力してきました。1昨年が術後リハビリなどの入院中の計画表である『クリニカルパス』、昨年がそれぞれの患者さんについてのデータを分析するための『IT』として大きな成果を上げています。今年のテーマは『QOL;生活の質』としました。

そもそも股関節の病気の大半は直接生命にかかわることはありません。皆様が困っておられるのは痛みや生活の不自由さ、跛行などです。これらの問題が手術などによって解決し、患者さんご自身もまたご家族も生活の質が向上し、ともに満足していただけることが私達の責務と考えています。

「安心して手術が受けられ、早期に社会復帰が出来ること」が私どもの大きな目標の一つですが、さらにできれば、股関節が悪くなる前のような生活ができることが最終的な目標です。つまり、手術前より良くなるのは当然で、全く正常な方と同じような生活を送れるようにすることが最終目標です。もちろん現時点ではまだ様々な問題があり、実現していませんが、少しでも目標に近づけるように、創意工夫を重ねていきたいと考えています。例えば、「ゆるまない、脱臼しない人工関節の開発」や「スポーツに復帰できる骨切り術の開発」など、その他様々なことに取り組んでいます。

もちろん、「QOL:生活の質」の向上には、たとえ生活にある程度の制限のある方でも、それにあつた生活の送り方があります。残念ながら、多少生活に制限のある皆様には、様々な工夫をしながらより良い生活を送られることをお祈り申し上げます。少なくとも、QOLを著しく低下させる我慢できない痛みやどうしようもないような不自由さは解決できると考えております。

「股関節だより」の送付状況について

股関節だよりの7号は600名余りの皆様にお送りさせていただきました。8号はさらに数十名増える予定です。今年からインターネットのホームページでもご覧いただけるようになっております。(佐賀医科大学医学部医学科整形外科のホームページをご覧ください。)

今後とも宜しく願い申しあげますとともに、今年が皆様にとって良い年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

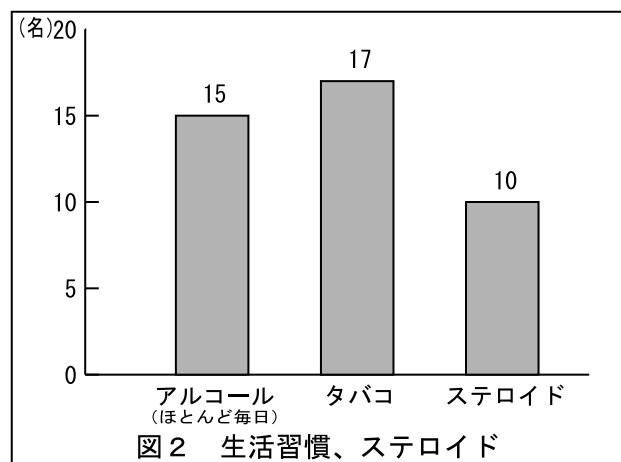
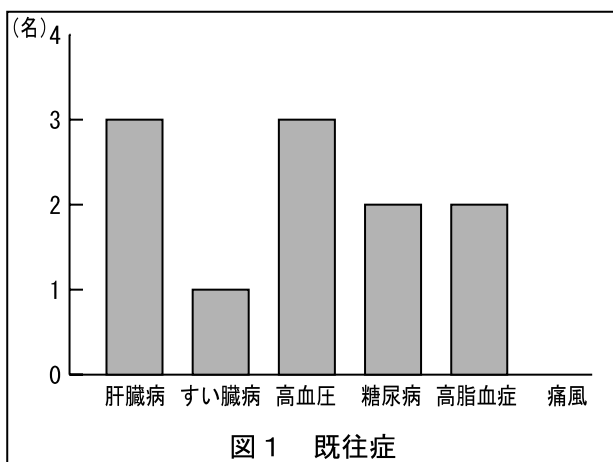
特発性大腿骨頭壊死アンケート2001

医師 古賀 俊光

大腿骨頭壊死は転倒などの外傷による二次性とアルコールやステロイドが原因といわれるいわゆる特発性に分けられます。しかし、特発性の原因はいまだはっきりとしていません。当科でも重松先生を中心に原因のひとつと考えられる脂肪細胞の培養をおこない実験系を確立し病因の解明に取り組んでいる最中です。そんななか、11月中旬に皆様の協力を得ましてアンケート調査を行いました。人工関節および骨きり術を受けられた36名の方にアンケートの送付を行い27名の方より回答をえることができました。アンケートの結果をご報告します。有効なアンケート総数である26名の方の結果を集計しております。持病として肝臓病をお持ちの方が3名、すい臓病が1名、高血圧3名、高脂血症2名、糖尿病2名、痛風0名とあまり原因とは考えられませんでした。原因と考えられるアルコールはほとんど毎日飲まれていた方が15名、週に数回が5名、週に1回が2名、月に1回が1名、飲んでいないが4名でした。かなりの方が良くお酒は飲まれるようです。ステロイドといわれる薬の使用は10名がされており、11名はしていない、5名はわからないとのことでした。タバコも吸われる方が17名と多かったのですが、これはお酒が好きな方にタバコも好きな方が多いのかもしれないので一概には原因といえません。お酒の飲みすぎやタバコの吸いすぎは体に悪いので控えるようにしたほうがよいようですね。

中学・高校とスポーツされていた方は15名おられました。手術後もスポーツをされている方は人工関節で1名、骨切りの方で1名でスイミングやウォーキング、キャッチボール、ゴルフの素振り程度の簡単な運動のようです。しかし、6名の方は走れると回答しておられます。日常生活では車の運転はしていた17名全員が手術後も運転を続けられています。杖が必要と答えた方は11名おられましたが用心のため使われている方もおり本当に必要とされているの

はもっと少ないようでした。手術後まだ日の浅い方もおられますので杖の必要性も減って行くと考えられます。正座は25名が可能ですが入浴は3名が苦労される階段は2名がのぼれないとのことでした。ズボンや靴下を履くのに苦労する方が8名、車の乗り降りに苦労する方が6名おられるとのことでした。何らかの痛みがある人が11名おられました。退院してから気をつけていることは骨きりの方は重いものを持たない、太らない、あまり足に負担をかけないようにしているとのことでした。人工関節の方は転ばないようにや脱臼をしないようにズボン履きや入浴、和式トイレに注意するようにしている方がおられるようでした。早く脱臼しない人工股関節ができるといいのですが・・・。どちらの手術でも筋力が落ちたので筋力トレーニングをしていますという方もおられました。頑張ってください。(程ほどに)手術は16名が辛かったそうで最初の2~3日が辛くその理由は痛み、動けない、トイレが主なものでした。動ける方は翌日からでもトイレに行きたいようです。(考えます。)手術に満足いただけたのは21名で5名は分からないとのことでした。改善される点はまだまだ多いと思われまます。来年は佛淵教授の下、患者の皆さんのQOL(生活レベル)の向上を課題に取り組んで行きたいと考えております。このようなアンケートを通して皆様に教えられることも多く大変役立たせていただいております。これからもアンケート等で皆さんお手数をお掛けすることがあると思いますがご協力の程よろしく願いいたします。また、通院間隔が数カ月とか1年とかあいてしまうと心配事も出てくると思いますのでその時は、電話かメールでご相談ください。最後になりましたが、アンケートにご協力いただいた皆様には本当にありがとうございました。



お手紙・お葉書

ありがとう

ございます

佛淵先生へ お礼の心をこめて

秋なかばとも成りますと、朝夕は冷え込んでおりますが、昼中の空色は格別なものです。小さな庭先の植え込みも秋を感じはじめ、今年の猛暑を思い起こすかのように風が舞うたびに揺らめいている昨今です。

佐賀医大の植木にキンモクセイが有りその花の香りが今が盛りと言う中で、母 K.K. が早々に退院が出来、嬉しくて、涙を拭き々医大を後に家路へと帰り着いた次第です。月並みな言葉ですが、これもそれも誠に先生はじめスタッフ一同皆様の努力の、たまものであると感謝しております。その時のことを思い出しますと、又目が潤んでくる次第です。

思い起こしますと5月の心臓病に始まり、佛淵先生と母もご縁が有り、母の人生観が変わった事と思います。

40年余りも不自由だった足を自分の自力で歩く事が出来ると聞いた時は、本人まっ先に？ 私たちも、何より先に不安が、立ち込めました。でも先生の力づよい説得のお陰で、何とか気持ちの整理が付き、手術の方向へと進む事が出来、医大へ御任せと言う事でおんぶに抱っことなった訳です。本当にお世話になりました。

私は神戸の西区に在住ですから、なかなか面会にもいけず先生の言葉をただ支えに、今日を迎えた次第です。先日病院に行きますと、母が立ち上がって歩く姿を見せてもらった時は、とっても感動的でした。又、絶句。

すぐに先生にお会いして、お礼を言わなければと思い、「先生は？」と聞きましたら、あいにく学会へ御出かけとの事でした。今回は私の友達が母を見舞いに、神戸から一緒に来てたものですから、友達も先生にお会い出来ないのが残念だったようです。友達も、車椅子生活を10年やっています。私が、先生の人物像を話をするものですから一度お会いしてお目にかかりたかったようです。どうもすみません、私事ばかりで本当に有り難うございました。下手な文章ですが、まずは御礼まで

どうぞこれからも宜しくお願いします。

又神戸の方へお見えになりましたら、電話、もしくはお立ち寄り下されれば有り難く存じます。

ほんとうに有り難うございました。

兵庫県神戸市西区伊川谷町 E.Y.さん

~~~~~

私は、平成13年6月7日佐賀医科大学の佛淵先生執刀で右股関節の人工骨置換手術を受けたY.A.です。昭和13年2月24日生まれで、現在63才になります。

私は、小学校4年生の秋、尻が痛いと親に訴えたところ外科医の先生に診断を依頼し、先生は手術をすると一週間で退院できると診断し、入院することになりました。左股関節の周りの手術を受けました。一週間経っても快復せず、逆に繰り返し再々手術を受け、3ヶ月後までには7回手術を受けました。そのときはもう既に衰弱し、左股関節は骨膜炎となり、立て膝の上向きで寝ていた関係で右股関節は支えきれず自然脱臼となりました。

手術をした遠縁にあたる外科医の先生は、左股関節骨膜炎が判明したとき今後もう快復は望めない。この衰弱では、あと一週間程度の生命であろう。今後の治療費はいらないので左足を股関節から切断させて欲しい旨を私の親に告げました。

私の親は子供の快復を夢見て入院させた結果が最悪となった以上、我が家の畳の上で死なせたいと病院の了解なく無断で退院させました。

退院後は、薬も投与せず、治療もせず、寝たきりで死を待つ毎日でしたが、日ごとに快復し、1年後は、左股関節は、くの字に硬直し、右股関節は脱臼のままでも両松葉杖での歩行が出来るように快復しました。

4年後の中学2年のある日、左股関節付近の手術あとの傷口から、血腫とともに、ピンポン玉を半分にしたような骨が出てきました。それまでは、毎日傷口から、膿が出ておりましたが、腐った骨が出てから一週間後に膿がでるのも止まり、傷口もふさがりました。

高校1年のときに、松葉杖もとれて、歩行することができました。右足が、4センチも短く、歩行は山谷歩きのように上下に振れていましたが、痛みはなく、40才まで、生活に大きな不自由は、感じませんでした。あるとき、自転車の後ろに乗り、転げて右股関節をくじいたときから、痛みを感じるようになりました。

そのときは、大阪に住んでおりまして、国立病院、市立病院、私立病院、阪大病院と訪ねましたが、それぞれの先生の意見が分かれ、阪大整形外科の先生の意見が、私の素人判断に共通するものがあり、一任して入院することとしました。1週間の精密検査では、やはり右股関節手術は、無理があるとのこと、右股関節人工骨置換手術は、取りやめて左骨きり手術に代わりました。結果は、立った姿の見栄えが少し良くなりましたが、右股関節脱臼の痛みは変わらずでした。入院して長期休暇のため職を無くして大阪から昭和53年に古里の熊本へ引っ越してきま

した。熊本では小さな会社へ就職することができました。

平成13年2月63才になって、右股関節脱臼のところが急に痛みで耐えられず、熊本の国立療養所再春荘病院を訪ねました。レントゲンの映像ではあまりにも変形であり驚かれました。痛みが取れる処置は、考えつかないけれど、患者さんが痛いと言われたら、医者として痛みを解決してあげるのが医者の使命であるから研究させていただきたい。ついては2週間の時間を貸して欲しいと云われました。

私は、またその足で熊本市にある別の整形外科の病院を訪ねましたが、レントゲンの結果、右股関節は脱臼してから52年間の経過は、元には戻せないとの診断でありました。

2週間後、再春荘病院の森沢先生を訪ねたら、手術可能であると話されました。「手術は、可能です。その手術ができる先生が佐賀医大におられ、熊本でも出きるが少し遠いけれど佐賀医大の方が設備等も完備しているので手術を受けた後は、またこの再春荘病院でリハビリを行うこともできます。後は本人の決断ですから、決断したら紹介状を書いてあげます。」とのことでしたので、私は早速紹介状を書いていただきました。おそらく無理な話であろうと半信半疑で佐賀医大を訪ねました。整形外科の佛淵先生から診察を受けた結果、「手術はできますが、あなたの右股関節脱臼による人工股関節置換手術は、従来の人よりも3倍難しい。また左股関節硬直の切り離し人工股関節置換手術は、5倍も難しいが、同様の方の手術を7回も行ってそれぞれの患者さんは手術後楽に歩かれていますよ。」と診断されたのは、わずか数分でありました。

私にとっては、信じられない夢のような話でありましたが、7回も経験がおりなことは、手術ができることが間違いないと信じて夢が覚めない内に、また夢が叶えられるならと思って、その場で主治医になられる古賀先生に手術を受けることをお願いしました。

入院は、3ヶ月近く待たされましたが、不安と期待とまた同じ患者さんが多く待たされていることに驚きました。

まず痛む右股関節脱臼の人工股関節置換手術で入院しました。いよいよ手術日になりましたが、入院予定表を見て驚きました。前回大阪での手術のときは、1ヶ月で退院して3ヶ月ギブスをセットして6ヶ月以上の自宅療養でありましたが、手術はギブス不要、普通の人には3週間で退院だが、あなたの場合は、1.5倍で4週間でしょうと聞かされて本当に信じられませんでした。結果的には、当日から普通食、5日目から車椅子でトイレの使用が出きるなど予定表より数日早く階段の昇降の訓練、入浴の訓練を受けて手術後4週で7月9日退院しました。その日に熊本の再春荘病院に入院し1ヶ月リハビリを受けて8月9日退院しました。現在、左に杖を付いていますが、家庭内では、もう杖もいりません。

以前の右股関節脱臼の姿また歩く姿は、見苦しく

恥ずかしい思いの毎日でありましたが、そのふくらはみはなくなりました。私は、温泉が大好きで、大浴場へよく行きますが恥ずかしい思いがなくなりました。

また、左右の足の長さが揃い、歩行するにも上下の振れがなくなりました。

私を以前から知っている方も私が歩く姿を見て「だいぶスムーズになったな」と云われます。まことに嬉しい限りです。

左足股関節が硬直しているの下着、上着の脱着は苦勞しますが右足の片足で立てることができることになって、下着、ズボン等の着替えが以前より大変楽になったことです。もちろん、以前脱臼部分の痛みがあった部分はなくなりましたので、当然脱臼箇所の痛みはありませんが、手術後の痛みが少し残っております。

52年間苦しみ続けた苦勞がやがて解放され、杖も取れることの楽しみを夢見て先生に感謝をこめて舌足らずではありますが、書状を借りてお礼を申し上げます。

佐賀医科大学整形外科発行の股関節だよりをお送りいただき、ありがたく拝読させていただきました。厚くお礼申し上げます。

平成13年11月10日

熊本県菊池郡西合志町 Y.A.さん

~~~~~

すっかり初冬の景色に変わりました。

先日は股関節だよりをいただきなつかしく読ませていただきました。佛淵先生の朝の散歩には頭が下がります。でも患者としてはとても勇気づけられます。ありがとうございました。

もりもと様からその後の体調についてお尋ねがございましたがその頃は忙しくて(11月2日は主人の7回忌になっておりました)その後は風邪をひいて3日ほど休養していましたが、遅くなって申しわけありません。

私は平成11年の5月6日佛淵先生に左脚の股関節の手術をしていただきましたので2年半を過ぎました。おかげさまで日常生活には不自由はございません。

家事全般(娘と二人暮らし)を私が受持っています。外に宅地内にすこし畑がありますので野菜をすこし作っています。耕作はたのみですが、あとの手入など私がします。中腰ではすぐ腰が痛みますので坐ってします。

朝は6時~7時頃には起床します。それから2時間ばかり動くと腰が重くなりますのでモミモミ機に10分ばかりかかってほぐし又仕事にかかります。掃除洗濯そのくりかえしです。その間に新聞を読んだりテレビを見たりはしますが、昼寝はしません。

午後はすこしゆっくりになります。腰が痛かったり重かったりするの骨粗鬆症になってしまっているからだと思います。それについては特別治療は

していません。

外を動く時は近所は杖でまわります。郵便局は往復2km位ありますので押車でいきます。それより遠くはタクシーを使っています。

手術をした所は全然痛みはありません。ただ長く歩くと左脚がつかれます。普段トレーニングをしていないのでなかなか筋力がつかないからだと思いますが、これがなかなか実行出来ずにいます。左脚に力が入らないので階段の上り下りにはすこし骨折ります。特に下りは前にひっくり返るような気がして一段ずつ下ります。

今私が希望することは骨粗鬆症がどうかにならないかと左脚に筋力がつくことです。

そして就寝は午後10時～11時ぐらいです。ぐっすり眠ります。食慾もあります。あと10日位で86才になりますが、みんなの方々から顔色もよく元気だと云われます。これも立派な手術が出来たからだと深く感謝しています。

今度の来院は平成14年5月6日と予約しています。その時今の体調でお会い出来ますように気を付けて生活します。

11月12日

乱筆でごめんください

整形外科御一同様

藤津郡嬉野町 K.I.さん

~~~~~

年の暮を迎え本年の出来ごとが色々と思い出される今日このごろでございます。佛淵先生をはじめ諸先生方お変わりもなくお元気の事と存じます。

此の度は心待ちにしていました股関節だよりをわざわざ送って下さいましてありがとうございました。心より恐縮に思っています。

佛淵先生のお写真を拝見致しまして、本当に心強く感謝致しました。

私は福岡市在住のNと申します。

佛淵先生に手術をして頂きましたのは、九大病院にて平成8年12月でございます。あれから丁度5年になります。不安だらけの私の心を一転して一気に希望に満ちあふれる人生にさせていただきました。手術の日は朝一番で早くから準備に取り掛り、母姉妹も駆けつけてくれました。

初めはわからない事ばかりで個室に居た私は朝先生がお見えになる度、直にお尋ねしたり、お話をさせて頂きました事本当に幸せでした。佛淵先生は、もう大丈夫、もし今火事があれば一番先に走って逃げられるヨと勇気付けて下さいました。本当に帰り(退院)は杖一本で堂々と部屋を出ましたら、見送って下さった方々が驚きの眼差しで見っていました。その当時母や妹が遠慮なく失礼な事を何度も佛淵先生にお尋ねした事を思い出します。そのでしゃばり妹も今年母と共に相次いでガンにて永眠しました。本当に淋しくなりました。

今後ともよろしくご指導下さいます様心よりお願

い致します。

向寒の折御身大切にお過ごし下さいませ

かしこ

福岡市東区 M.N.さん

~~~~~

先生、お元気ですか。

今年の夏は猛暑続きで涼しい風が吹く時季はくるのかしらと思っておりましたら秋桜の花が運んで来てくれました。

でも私が楽しみにしています、第7号のたよりはまだです...

私の方から近況報告です。7月に会長上滝ひろ子さんの「おまたの会」第2回目の親睦会が伊万里で開催されました。私は残念ながら都合がつかず参加できませんでした。11月頃に近くにいるメンバーで会を持つ予定です。私は今年婦人会の役が回ってきて、お世話をしています。敬老会や橘町のふれあい祭りでは踊りをします。私は当日はテープ係ですが、練習の時は一緒に稽古をしています。曲に合わせて身体を動かすことはとても楽しく、又何といっても地区の方々とふれあいの機会が持てる事が嬉しいです。日頃はお互いに車の中から挨拶する程度ですが、またひとつ新たな楽しみが出来ました。

今日多久市立病院で肥後たかみ先生にお会いしました。若くて美しい顔に疲れがみえました。疲労回復は温泉が1番、武雄温泉は特に最適です!! 前回のたよりを読んでいましたら、先生のお父様はいらっしゃらないのですね。お母様は随分悲しい思いをなさった事でしょう。もちろん先生もですが、私も職場でお客様がお亡くなりになり(その日1人来館)家族の方がいらっしゃるまでなんとか生きていてほしいと願ったのですが、意識が戻らずとても辛い思い出です。51才の方でした。

今、日付けが変わって13日になりました。12日は長男の誕生日でした。それでは先生、無理をなさらずにお会い出来る日を楽しみにしております。

佛淵先生へ

H13.10.13

武雄市橘町 M.M.さん

~~~~~

はじめまして 福岡の西のはずれに居ますUと申します。紅葉で有名な雷山千如寺の近くです。

股関節だよりありがとうございました。今までお礼状が出せず、年に一度くらいの診察ですので、忘れられたかなと思っておりました。よかったー。第7号届きました。このおたよりを拝見すると安心していられます。佛淵先生のもと皆様お元気に活躍されている様子が伝わってきます。

何よりこの股関節だよりが温かく、前向きで、頼もしい、ここに繋がっていると思うだけで本当に大安心なのです。

佛淵先生の一人回診 = 朝の散歩ですか.....お顔の

表情、歩き方、先生の笑顔、目に浮かびます。

入院生活で先生の一人回診がどれほど力強く感じられたことか。改めて感謝します。

“恋を何年休んでますか”小泉今日子のテレビドラマがはじまりました。ウーン何十年も休んでいるなー。実年齢はもうすぐ64才だけど、気持は20代、でも私の周りに男性はいません。

胸をときめかすのは「イヤー佛淵先生だー」になりました。先生をどこまでも追って行きます。どうぞよろしくおねがいします。

佛淵先生、お若い先生方、編集の皆さまお身体お気遣いくださいますようお願い申し上げます。

お元気で、お元気で、ぎりぎりまで痛みをがまんしてがんばっている股関節の人々を楽にしてあげてください。

草々

10月27日

福岡市西区 E.K.さん

~~~~~

はじめてお便り致します。

お忙しいところ股関節だよりをお送り頂き本当に有難うございました。繰り返し繰り返し読んでは佛淵先生に大変お世話様になった事を思い出して今の幸せをかみしめております。

佛淵先生に初めてお会いしたのが平成4年4月でした。ステッキを持って5・6歩しか歩けなかった私に

「すぐ手術をしよう。手術をしたらウソの様に痛みは無くなり、前と同じように歩く事も出来、お勤めだって平気だよ……」

と噛んで含めるようにおっしゃって下さったのですが、前の病院で股関節の手術はワンランク下がる事を覚悟する様に聞かされていたので、手術をすれば両松葉杖になると思い込み、「イヤです、コワイです」の連発でした。

痛み止めを使っても痛みは止まらず、夜眠る事も出来ないつらさと痛みのため地団太を踏んでの台所仕事、出勤途上での交通機関利用の不便さを思ったとき、痛みさえなくなれば……と手術する事に致しました。

オペ当日、平静を装ってはいいたものの、こわさと、不安をぬぐい去る事の出来ないまま手術室に運ばれ朦朧としている私に……

「Nさん、僕だよ……」

「アッ佛淵先生ですかァ……お願いしまぁーす……」とやっと言い切れた私でした。気持をよく分かって下さり励まして頂き安心して手術をする事が出来たあの時の事は、昨日の事の様に忘れる事が出来ません。

それから、自己管理の不注意で2回もオペでお世話になり、最後の手術から今年で5年になります。生活して行く上でいろんな事がありました。その度に佛淵先生の暖かいお心で私にえがおを取り戻して

下さった事は私にとって何よりの幸せだと感謝致しております。

九大から佐賀医大へと我が家からは遠くなって参りました。でも私にとって距離なんか問題ではありません。先生に診て頂ける幸せと安心感が元気の源です。

人生の白秋を迎えた私には人工関節と云う財産を頂いた事がこの上ないプレゼントだと改めて有難く思っております。

紅葉も終演を迎えています。

佛淵先生をはじめスタッフの皆様方のご健康とこれからのご活躍を心からお祈り申し上げます。

かしこ

丁度8年前のこの時季(11月から)に職場復帰した事を思い出し、感謝の気持をしたためました。長々と申し訳ございませんでした。胸がいっぱいです。

山口県防府市 K.T.さん

~~~~~

12月も半ばをすぎ、本格的な寒さとなってまいりました。

此の度は大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

その間先生方をはじめ多くの看護婦さんたちには言葉に言い表せないほどの看護とお世話をいただき、心より感謝をいたしております。

思いの外の早い退院でしたのですのでごく喜んでおります。有がとうございました。

家でも御指導いただいた事を守りきちんと生活いたしております。

先生方には気の休まることはないでしょうが、お体に気をつけてお過ごしください。

右お礼にかえさせていただきます。

12月17日

佛淵先生

小城郡牛津町 Y.N.さん

以上は満足していただいている皆様からのお便りです。

私達にとっては大変ありがたいことですが、必ずしも大満足という訳にはいかない方々もおられることをスタッフ一同肝に銘じて精進したいと思えます。

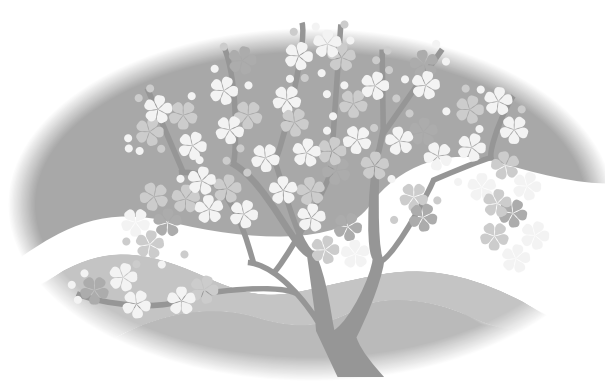
佛淵



峰 朝子さん

紅葉の名所へでも遠出したくなるような  
爽やかな季節となりました  
「股関節」たようレセ号 お送る下さりまして  
ありがとうございます  
来年早々には手術して頂く予定に  
なっている者ですが、セ号には医局の方々が  
写真付でご紹介があり、なんとなく親しみ  
を感じ不安が薄らぐ思っていました  
どうぞよろしくお願ひ致します  
先き方のますますのご健勝をお祈り申し  
あげます

今嶋 豊子さん



21世紀の前半は順調に歩み出したのに  
9月11日のテロ以来世の中が不安定なことは  
かりです。今年も脚走に入ってしまった  
好くはなりました。毎日ご苦労持で  
ございます。先達ってほやく号の「股関  
節たいり」を和居け頂う有難うござい  
た。お礼が大遅くはりましたことお詫  
下さいませ。教文の巻頭文の中でロボット手術  
の件の解答を頂う大々嬉しく感激致  
した。その専人の独断と偏見の文で  
はに身に  
あまざいをして頂う老榮に  
お礼を申す。  
教文・スタッフの方々の  
意気込みを感じると  
嬉しく感じます。股関節の分野で  
は佐野先生の整形外科が患者に  
一番の光と輝きです。思いやりのあ  
る術者の高貴な医師の  
ご研鑽とご活躍、ご発展を心から祈  
いに申す。毎日を健康にお祈り  
申す。早く戦争のない平和な世の中  
にしたい。どうぞ、どうぞ、どうぞ  
お礼を申す。

有馬 由美さん

「ロボット手術」については他の方から  
も同感とのお便りがありました。

# 『股関節だより』送付状況

医局 野中 寿栄

『股関節だより』も今回で第8号となりました。  
号を重ねるたびにお送りしている部数も増えております。  
今回も、前年と同様に『股関節だより』の送付先を地域別に集計してみましたので、ご紹介いたします。

|         |      |
|---------|------|
| 佐 賀 県   | 452名 |
| 福 岡 県   | 79名  |
| 長 崎 県   | 19名  |
| 宮 崎 県   | 10名  |
| 熊 本 県   | 14名  |
| 大 分 県   | 1名   |
| 鹿 児 島 県 | 6名   |
| 山 口 県   | 7名   |
| 広 島 県   | 1名   |
| 香 川 県   | 1名   |
| 島 根 県   | 1名   |
| 徳 島 県   | 1名   |
| 兵 庫 県   | 2名   |
| 茨 城 県   | 1名   |
| 埼 玉 県   | 2名   |
| 千 葉 県   | 2名   |
| 富 山 県   | 1名   |

|         |     |
|---------|-----|
| 佐 賀 市   | 96名 |
| 伊 万 里 市 | 40名 |
| 鹿 島 市   | 26名 |
| 唐 津 市   | 14名 |
| 多 久 市   | 19名 |
| 武 雄 市   | 20名 |
| 鳥 栖 市   | 4名  |
| 小 城 郡   | 27名 |
| 神 埼 郡   | 32名 |
| 杵 島 郡   | 49名 |
| 佐 賀 郡   | 57名 |
| 西 松 浦 郡 | 5名  |
| 東 松 浦 郡 | 41名 |
| 藤 津 郡   | 20名 |
| 三 養 基 郡 | 2名  |

これからもっと県内だけでなく、県外からの患者さんが増えそうです。

この集計は、毎年1月にご紹介していく予定です。

佐賀県が452名と一番多くなっています。去年に比べて、県外からの患者さんが増えています。佐賀県内の内訳も集計をとっていますので、ご紹介いたします。

## 編集後記

新年 あけましておめでとうございます。

今年も『股関節だより』をよろしくお願い致します。

昨年は発行するのが遅れてしまいまして申し訳なく思っております。今年は遅れずに皆様にお届けできるように心掛けていきたいと思っております。編集に関わるようになりまして、早いもので1年近くになるうとしています。『股関節だより』を通して、いろんな方と知り合うことができ、患者さんからの綺麗な絵はがきやお手紙を頂きまして、私にとって実りある1年だったと思っております。

さて、新しい年を迎えて、心新たな気持ちでこの1年頑張ろうと思っておりますが、今年は何か目的を持って充実した1年にしていきたいと思っております。皆様にとって、今年もいい年であることを心より願っております。

これからも皆様の心の支えになれるような『股関節だより』の編集をしていきたいと思っておりますので、今後とも、皆様の近況報告のお手紙、お便りをお待ちしております。またいろんなコーナーも設けていきたいと思っておりますので、楽しみにして下さい。また、「股関節だより」がホームページで見ることができますので、ご利用下さい。( <http://www.seikei.saga-med.ac.jp/> )

まだまだ寒い日が続いていますので皆様お体ご自愛くださいませ。

(住所が変更された時は下記まで連絡頂ければ幸いです)

お便り等宛先 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号  
佐賀医科大学整形外科内 股関節だより編集局 野中まで  
TEL: 0952-34-2343 ・ FAX: 0952-34-2059